

《食道癌の抗がん剤療法》

- 1 **高用量 FP (Standard FP) 10EC020E** 1サイクル=28日間、放射線併用は2サイクル
 * 化学療法単独と用量異なる

催吐性リスク		高度		* 化学療法単独と用量異なる									
順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2	3	4	5	6	7-28	
	アプレピタントカプセル	制吐 初日125mg、2・3日80mg			内服	●	●	●					
1	生食 500 ml	水分負荷			点滴60分	●							
2	パロノセトロン0.75mg50ml デキサート 9.9 mg	制吐			点滴30分	●							
	生食 100 ml デキサート 6.6 mg				点滴30分		●	●	●	●			
3	ソリューゲンF 500 ml 硫酸Mg補正液 10 ml	水分負荷			点滴60分	●							
4	フルオロウラシル 生食 500 ml	RT 700 mg/m ²	重度考慮	重度考慮	点滴24時間	●	●	●	●	●	×	×	
4	㊨ランダ 生食 500 ml	RT 70 mg/m ²	軽中不要	必要	点滴120分	●	×	×	×	×	×	×	
5	ソリューゲンF 500 ml	水分負荷			点滴90分	●							
6	ソリューゲンF 500 ml		点滴90分	●									
	ソリューゲンF 500 ml 生食 100 ml		点滴120分 最後の流し					●	●				
±放射線治療													

- 2 **中等量 FP 10EC040E, 10EC043E** 1サイクル=35日間
 放射線併用は2サイクル(化学療法単独もある)

催吐性リスク		中等度(上)		放射線併用は2サイクル(化学療法単独もある)															
順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14-35
	アプレピタントカプセル	制吐 初日125mg、2・3日80mg			内服	●	●	●											
1	生食 500 ml	水分負荷			点滴60分	●													
2	グラニセトロンハック 3mg デキサート 4.95 mg	制吐			点滴30分	●													
	生食 100 ml デキサート 3.3 mg				点滴30分		●	●	●	●									
3	ソリューゲンF 500 ml 硫酸Mg補正液 10 ml	水分負荷			点滴60分	●													
4	フルオロウラシル 生食 500 ml	400 mg/m ²	重度考慮	重度考慮	点滴24時間	●	●	●	●	●	×	×							
4	㊨ランダ 生食 500 ml	40 mg/m ²	軽中不要	必要	点滴120分	●	×	×	×	×	×	×							
5	ソリューゲンF 500 ml	水分負荷			点滴90分	●													
6	ソリューゲンF 500 ml		点滴90分	●															
	ソリューゲンF 500 ml 生食 100 ml		点滴120分 最後の流し					●	●									●	
±放射線治療																			

- 3 **low dose FP+RT 10EC060E**

催吐性リスク		不明		週5日を6週(1-30)															
順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)														
1	生食 100 mL				プライミング用	●													
2	フルオロウラシル 生食 250 mL	250 mg/body or 200 mg/m ²	重度考慮	重度考慮	点滴24時間	●													
2	ランダ 生食 100 mL	5 mg/body or 4 mg/m ²	軽中不要	必要	点滴30分 放射線照射30分前	●													
放射線治療(RT): RTある日のみ化学療法を行う。																			

4 FP化学放射線療法 JCOGレジメン

1サイクル=28日間、2サイクル

催吐性リスク		高度											
順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2	3	4	5	6-28		
	アプレピタントカプセル	制吐 初日125mg、2・3日80mg			内服	●	●	●					
1	生食 500 ml	水分負荷			点滴60分	●							
2	パロノセトロン0.75mg50ml デキサート 9.9 mg	制吐			点滴30分	●							
	生食 100 ml デキサート 6.6 mg				点滴30分		●	●	●				
3	ソリューゲンF 500 ml 硫酸Mg補正液 10 ml	水分負荷			点滴60分	●							
4	フルオロウラシル 生食 500 ml	700 mg/m ²	重度 考慮	重度 考慮	点滴24時間	●	●	●	●	×	×		
4	㊨ランダ 生食 500 ml	70 mg/m ²	軽中 不要	必要	点滴120分	●	×	×	×	×	×		×
5	ソリューゲンF 500 ml	水分負荷			点滴90分	●							
6	ソリューゲンF 500 ml		点滴90分	●									
	ソリューゲンF 500 ml		点滴120分				●	●					
	生食 100 ml		最後の流し								●		
放射線治療													

5 術前DCF

1サイクル=21日間 予定コース3コース

催吐性リスク		高度												
順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2	3	4	5	6	7-21		
	アプレピタントカプセル	制吐 初日125mg、2・3日80mg			内服	●	●	●						
1	生食 250 mL	水分負荷			点滴30分	●								
2	パロノセトロン0.75mg50ml デキサート 9.9 mg	制吐			点滴30分	●								
	生食 100 mL デキサート 6.6 mg				点滴30分		●	●	●	●				
3	㊮セタキセル 生食 250 mL	壊死性 水分	70 mg/m ²	必要	不要	点滴60分	●	×	×	×	×	×	×	×
4	ソリューゲンF 500 mL 硫酸Mg補正液 10 mL	水分負荷			点滴60分	●								
5	フルオロウラシル 生食 500 mL	750 mg/m ²	重度 考慮	重度 考慮	点滴24時間	●	●	●	●	●	×	×		
5	㊨ランダ 生食 500 mL	70 mg/m ²	軽中 不要	必要	点滴120分	●	×	×	×	×	×	×	×	
6	ソリューゲンF 500 mL	水分負荷			点滴90分	●								
7	ソリューゲンF 500 mL		点滴90分	●										
	ソリューゲンF 500 mL		点滴120分				●	●						
	生食 100 ml		最後の流し									●		

6 高用量 FP (Standard FP) 10EC023E

1サイクル=28日間

催吐性リスク		高度												
順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2	3	4	5	6	7-28		
	アプレピタントカプセル	制吐 初日125mg、2・3日80mg			内服	●	●	●						
1	生食 500 ml	水分負荷			点滴60分	●								
2	パロノセトロン0.75mg50ml デキサート 9.9 mg	制吐			点滴30分	●								
	生食 100 ml デキサート 6.6 mg				点滴30分		●	●	●	●				
3	ソリューゲンF 500 ml 硫酸Mg補正液 10 ml	水分負荷			点滴60分	●								
4	フルオロウラシル 生食 500 ml	単独 800 mg/m ²	重度 考慮	重度 考慮	点滴24時間	●	●	●	●	●	×	×		
4	㊨ランダ 生食 500 ml	単独 80 mg/m ²	軽中 不要	必要	点滴120分	●	×	×	×	×	×	×	×	
5	ソリューゲンF 500 ml	水分負荷			点滴90分	●								
6	ソリューゲンF 500 ml		点滴90分	●										
	ソリューゲンF 500 ml		点滴120分				●	●						
	生食 100 ml		最後の流し									●		

7 アクブラ+フルオロウラシル併用療法 10EC300E 1サイクル=28日間

催吐性リスク 中等度

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2	3	4	5	6	7-28
	生食 100 mL	プライミング				●						
1	グラニセトロン 3 mg デキサート 9.9 mg	制吐			点滴30分	●						
	生食 100 mL デキサート 6.6 mg				点滴30分		●	●	●	●		
2	④アクブラ 生食 500 mL	90 mg/m ²	不明	不明	点滴90分	●	×	×	×	×	×	×
3	フルオロウラシル 生食 500 mL	800 mg/m ²	重度 考慮	重度 考慮	点滴24時間	●	●	●	●	●	×	×
4	ソリューゲンF 500 mL	水分 負荷			点滴90分	●						
5	ソリューゲンF 500 mL		点滴90分	●								
	生食 100 mL		最後の流し									●

8 DCF 10EC200F 1サイクル=28日間

催吐性リスク 高度

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2	3	4	5	6	7-14	15	16-28
	アプレピタントカプセル	制吐 初日125mg、2・3日80mg			内服	●	●	●						
1	生食 250 mL	水分負荷			点滴30分	●								
2	パロノセトロン0.75mg50ml デキサート 9.9 mg		制吐			点滴30分	●							
	生食 100 mL デキサート 6.6 mg				点滴30分		●	●	●	●			●	
3	⑩ドセタキセル 生食 250 mL	壊死性 30 mg/m ²	必要	不要	点滴60分	●	×	×	×	×	×	×	●	×
4	ソリューゲンF 500 mL 硫酸Mg補正液 10 mL	水分 負荷			点滴60分	●								
5	フルオロウラシル 生食 500 mL		800 mg/m ²	重度 考慮	重度 考慮	点滴24時間	●	●	●	●	●	×	×	×
5	⑧ランダ 生食 500 mL	80 mg/m ²	軽中 不要	必要	点滴120分	●	×	×	×	×	×	×	×	×
6	ソリューゲンF 500 mL	水分 負荷			点滴90分	●								
7	ソリューゲンF 500 mL		点滴90分	●										
	ソリューゲンF 500 mL		点滴120分				●	●						
	生食 100 ml		最後の流し									●		●

9 2週毎オプジーボ単剤療法 1サイクル=14日間

催吐性リスク 最小度

順	薬品名(略名)	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2-14
1	生理食塩液100mL				div	●	
2	①②オプジーボ 生理食塩液100mL	240 mg/body	軽度 不要	不要	div(30≤)	●	×
3	生理食塩液100mL				div	●	

10 4週毎オプジーボ単剤療法 1サイクル=28日間

催吐性リスク 最小度

順	薬品名(略名)	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2-28
1	生理食塩液100mL				div	●	
2	①②オプジーボ 生理食塩液100mL	480 mg/body	軽度 不要	不要	div(30≤)	●	×
3	生理食塩液100mL				div	●	

11 3wDOC 10EC400F 1サイクル=21日間

催吐性リスク 軽度

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路・時間	1	2-21
1	生理食塩液 100 mL デキサート 6.6 mg	制吐			点滴30分	●	×
3	⑩ドセタキセル 生食 250 mL		壊死性 70 mg/m ²	必要	不要	点滴60分	●
4	生食 100 mL				点滴	●	×

薬品名の印 ㊦ filter ㊨ hydration ㊰ premedication ㊱ route flush ㊳ supportive therapy ㊴ Time control ㊵ washout ㊶ vesicant drug.

* 肝腎機能の項は、指標があるものは「必要」or「不要」、明瞭でないものは「考慮」or「不明」で表記。

無断転載禁止

12 Weekly PTX 10EC500E 1サイクル=49日間

催吐性リスク 軽度

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路・時間	1	8	15	22	29	36	37-49
1	生理食塩液 100 mL デキサート 8.25 mg ボラミン 5 mg ファモチジン 20 mg	制吐 /抗ア レル ギー			点滴30分	●	●	●	●	●	●	×
2	生食100 mL				点滴30分	●	●	●	●	●	●	×
3	㊦㊰㊶パクリタキセル 生食 250 mL	壊死 性	100 mg/m ²	必要 不要	点滴60分	●	●	●	●	●	●	×
4	生食 100 mL				点滴	●	●	●	●	●	●	×